

大阪経済記者クラブ会員各位
(同時資料提供=大阪市政記者クラブ)

大阪港ベイエリアにおける「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けた 実証実験の実施について

【お問合せ】大阪商工会議所 産業部 (野間、瀧本、吉村)
TEL 06-6944-6300 (当日090-3030-2216)

大阪府、大阪市、大阪商工会議所で構成する「実証事業推進チーム大阪 (以下、「推進チーム」)」は、株式会社SkyDrive (以下「SkyDrive」) が10月22日、23日に実施する、大阪港ベイエリアにおける「空飛ぶクルマ」(※1)の社会実装に向けた実証実験を支援する。推進チームでは、大阪における実証実験をより円滑・効果的に実施できるよう支援しており、今回の実証支援もその取り組みの一環として行うもの。

- 今回の実証実験では、SkyDrive が荷物運搬用に市場化済みのカーゴドローンを使用し、大阪ベイエリア (中央突堤) において海上飛行実験を実施。海風の影響、バッテリー消費や充電の頻度・時間などのデータを収集・分析し、空飛ぶクルマを運行する際の最適な運行および充電スケジュールを検討するための材料とする。
- また、カーゴドローンによる海上飛行の様子や空飛ぶクルマの機体である「SD-03 展示モデル」の展示、安全面への取り組みや地域への賑わい創出効果等の説明を通して、空飛ぶクルマの認知度や社会受容度もあわせて確認する。
- SkyDrive は、2021年9月に、大阪府・大阪市と空飛ぶクルマの実現に向けた連携協定を締結し、相互の連携により、科学技術の発展、防災機能の強化、イノベーションの創出、地域活性化及び2025年大阪・関西万博に向けた機運醸成を推進するとしている。今回の実証実験で得られた結果についても、大阪府が設置する「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」で共有し、大阪における空飛ぶクルマの実現を力強く推進する。また、本実証実験は、大阪府が公募した、「空飛ぶクルマの実現に向けた実証実験」に対する補助金の交付を受けて実施される。
- 今後も推進チームでは、大阪府、大阪市、大阪商工会議所が緊密に連携し、「未来社会の実験場」をコンセプトとする2025年大阪・関西万博を見据えて引き続き実証支援の取り組みを積み重ね、大阪における新たなビジネス創出に取り組む。



空飛ぶクルマの機体「SD-03 展示モデル」

【実施概要】

期 日：2021年10月22日 (金)、23日 (土)

場 所：大阪港中央突堤

実施主体：株式会社SkyDrive

(本社：東京都新宿区大久保3-8-1、代表取締役CEO：福澤 知浩 氏)

以上

- ＜添付資料＞ 資料1：推進チーム 2020年度の支援実績
資料2：推進チーム 提案募集ちらし

※1：空飛ぶクルマ：正式名称を「電動垂直離着陸型無人機従者航空機 (eVTOL (electric vertical takeoff and landing))」と呼び、電動化、完全自律の自動操縦、垂直離着陸が大きな特徴。モビリティ分野の新たな動きとして、世界各国で空飛ぶクルマの開発が進んでおり、日本においても2018年から「空の移動革命に向けた官民協議会」が開催され、都市部でのタクシーサービス、離島や山間部の新たな移動手段、災害時の救急搬送などこつがるものとして期待されている。日本では、2023年頃の事業開始、2030年の本格普及に向けたロードマップ (経済産業省・国土交通省) が制定されている。

大阪における実証実験 2020年度の支援実績

大阪商工会議所

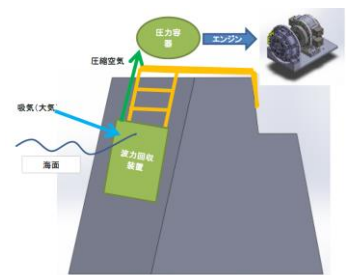
1. 波力回収装置の機構の最適化に関する実証（2期）

株式会社ダ・ビンチ（本社：奈良県大和高田市、代表取締役：東謙治氏）から実証実験実施の希望があり、大阪府が管理する港湾の護岸で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2020年5月1日～2021年3月31日

② 概要：波により生じる海水の質量の移動を利用して運動エネルギーを圧力に効率的に変換する機構を検証するため、1月25日から4月30日まで、泉大津フェニックス埠頭護岸において、開発中の波力回収装置を海中に沈め、海水の運動エネルギーを圧力に変換する実験を行い、データを取得した。今回はこのデータをもとに、形状を変化させた波力回収装置で実証を行い、最も効率のよい形状を検証する。

③ 今後：実証実験を通じて、より効率よく波のエネルギーから圧縮空気を製造する波力回収装置を開発することで、波力発電システムの製品化を目指す。



2. センサー付きLED道路灯を活用したスマートライティングによる

スマートシティソリューションに関する実証

ミネベアミツミ株式会社（本社：長野県北佐久郡御代田町、代表取締役会長兼社長執行役員（CEO & COO）：貝沼 由久氏）から実証実験実施の希望があり、大阪府管理道路で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2020年9月1日～2021年8月31日

② 概要：道路近辺の環境状況（風速・風向、温度・湿度、気圧、降雨の有無、照度、UV、加速度）を把握できるセンサーを搭載した道路灯を、大阪府が管理する道路6か所に設置し、無線通信により道路灯の照度等の一元管理を行うほか、環境状況のデータを収集する。センサーが収集したデータを道路管理に役立てることが可能かを検証する。

③ 今後：今後、より多機能なセンサーを開発・搭載し、実証実験の結果を踏まえ、地方自治体への導入を目指す。



3. 「中之島チャレンジ 2020」における移動ロボットの自律走行技術実証

株式会社プロアシスト（本社：大阪市、代表取締役社長：生駒京子氏）から実証実験実施の希望があり、中央公会堂及び中之島図書館周囲の歩道で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2020年9月20日

※実験走行：8月29日、30日、9月19日

② 概要：中之島で実施する移動ロボットを自律走行させる公開共同実験「中之島チャレンジ」において、12チーム12台の移動ロボットが時速4キロメートル以下で自律走行した。

③ 今後：実証実験を通じて収集したデータをもとに、人が往来する環境における移動ロボットの自律走行技術の開発に役立てる。



4. サーモグラフィ搭載ドローンを用いた赤外線画像等の撮影に関する実証

関西電機工業株式会社（本社：東大阪市、代表取締役：寺田哲也氏）から実証実験実施の希望があり、大阪城公園で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2021年1月25日

② 概要：大阪城公園内の堀の上空で、サーモグラフィを搭載したドローンを飛行させ、画像データの転送スピードや操作性などの機能をはじめ、赤外線画像や映像の撮影により敷地内施設・設備の表面温度の状態を把握し、維持管理業務における実用性を検証した。

③ 今後：実証実験で得られたデータをもとに、通信機能等を向上させ、赤外線画像を施設・設備の点検に活用できる技術の開発に役立てる。



以上

「実証事業都市・大阪」の実現へ！



先端技術の実証実験を支援します

大阪府、大阪市、大阪商工会議所は、「未来社会の実験場」をコンセプトとする2025年大阪・関西万博を見据えて、革新的な実証実験を行いやすい環境を整え、大阪で新しいビジネスを生み出す好循環を創り出し、「実証事業都市・大阪」を実現するため、「実証事業推進チーム大阪」を設置いたしました。大阪での実証実験を希望する事業者を大阪内外から広く募ります。

スタートアップ、中堅・中小企業から大企業まで、先端技術を活用した実証実験を検討されている方は、ぜひ大阪へ！ご提案をお待ちしています。

詳細はサイトをご覧ください→



支援メニュー・支援内容

●実証フィールド調整

事業者が希望する実証実験のニーズに適した実証フィールドを調査・調整します。

実証フィールド（例）

＜大阪府、大阪市、大阪商工会議所の関連施設＞



狭山池ダム



北部水みらいセンター



複合商業施設ATC



舞洲スポーツ施設



大阪商工会議所

＜民間企業・団体の提供施設＞



大阪ガス(株)



小川航空(株)



(学)常翔学園



(株)タブチ



日立造船(株)

●実証支援サービス

実証実験を支援する民間サービスを紹介します。

実証支援サービス（例）

○実証実験用の保険サービス等（有償）

＜あいおいニッセイ同和損害保険(株)＞ ＜損害保険ジャパン(株)＞

＜東京海上日動火災保険(株)＞ ＜三井住友海上火災保険(株)＞

○5Gの技術検証環境

＜(株)NTTドコモ＞ ※通信回線利用料や端末使用料が必要となる場合があります。

○クラウド、IoT・衛星データプラットフォーム（無償）

＜さくらインターネット(株)＞ ※サービス提供開始から1年間のみ無償

●PR協力

実証実験実施時にPR協力します。

●規制緩和

国の規制等が障壁となる場合に、必要に応じて官民連携で国への働きかけ等を行います。

●資金支援

補助金やファンド等を通じて資金支援します。

※大阪府の「新エネルギー産業（電池関連）創出事業補助金」や大阪府が連携する「おおさか社会課題解決ファンド」等

実証フィールド、実証支援サービスをご提供いただける企業・団体も随時募集しております。
登録方法については、裏面記載の事務局までお問い合わせください。

対象分野

- ①先進的なまちづくり、②IoT、RT（ロボットテクノロジー）、③自動運転、④ドローン、⑤AI（人工知能）、⑥ヘルスケア、⑦オープンデータ、ビッグデータ

基本的なスキーム

事業者

実証実験の実施主体

①実証フィールド希望

③必要な
費用負担

③フィールド
提供

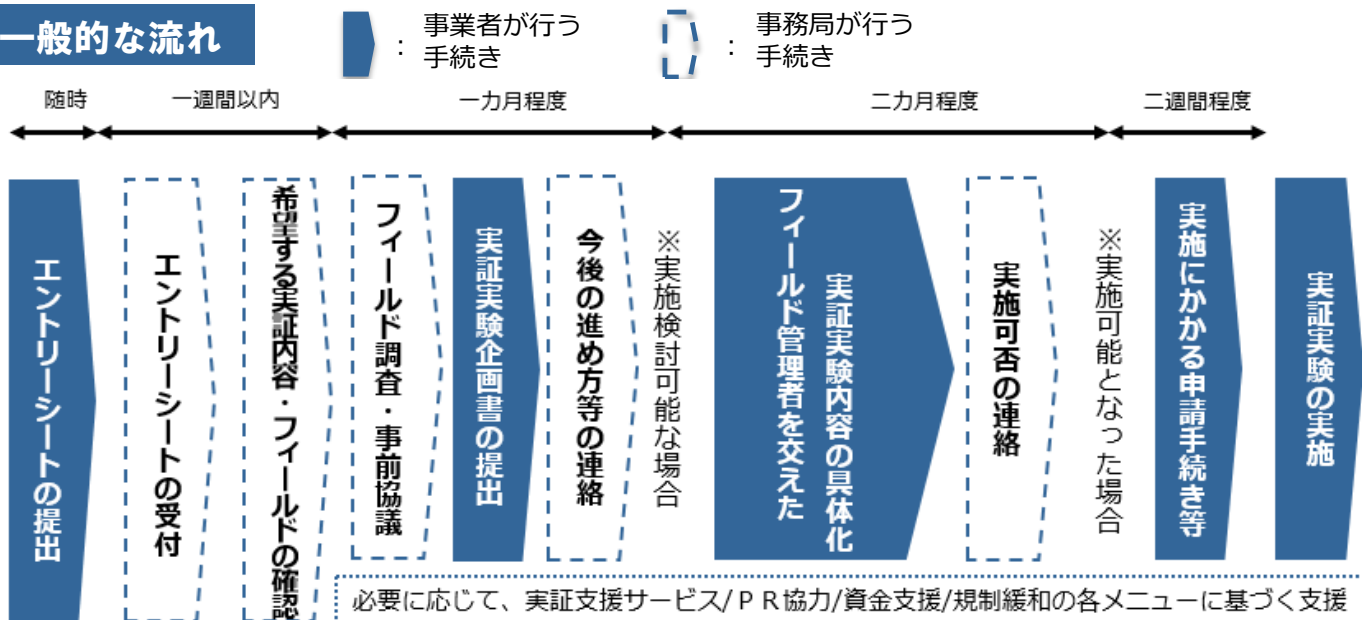
フィールド管理者

大阪府、大阪市、大阪
商工会議所の会員企業
等の関連施設

②フィールド調査
・ 事前協議

実証事業推進チーム大阪
(大阪府、大阪市、大阪商工会議所で構成)
窓口 = 事務局：大阪商工会議所

一般的な流れ



※上記はあくまで実証実験を実施するまでの一般的な流れです。案件により対応や必要な手続き、要する期間等が異なりますので、あらかじめご了承ください。

※実証実験実施後、実施報告をお願いいたします。

※実証実験の実施にあたっては、事務局が定める規約を遵守していただきます。

提案方法

下記HPよりエントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上、大阪商工会議所（E-mail: sangyo@osaka.cci.or.jp）へご提出ください。

https://www.osaka.cci.or.jp/innovation/social_demonstration/osaka.html



お問合せ

実証事業推進チーム大阪事務局

大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当（野間、瀧本、吉村）

TEL:06-6944-6300 E-MAIL:sangyo@osaka.cci.or.jp